

一番面白い。
生身の人間が、

『ドキュメント』は、映像からドキュメンタリーの力を
解き放ち、生身の人間と出会う場をつくる新しい祭典です。
既存メディアの制約から離れて、よりリアルに発信した
いという作り手たちの想いから生まれました。世界に強
烈な好奇心を抱く映像作家・写真家・ライターや、社会問
題に向き合う当事者たちが集い、トークライブを通して
多様な“生き様”を体験する濃厚な二日間です。

ドキュメンタリーは、
指をさして、こう言いました。
「王様は裸だよ！」と。

会場

KAIDO book&coffee

一龍屋台村 | 本照寺

最寄駅

京浜急行線・北品川または新馬場

主催

ドキュメント実行委員会

協賛

Tokyo Docs | テムジン

協力

東京ビデオセンター

制作代表

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

後援

SOMEONESGRADEN | DDCenter | 鈴木映画

松井至 | 内山直樹 | 米本直樹 | 安東嵩史

品川区 | 一般社団法人しながわ観光協会



OCTOBER
20-21
2018

ドキュメント
neo-documentary experiences in historical town SHINAGAWA-JUKU

<http://docu-memento.com>



※最新の情報はFacebookの
『DOCUMemento』ページにて
検索ください。

第二回ドキュ・メント映画祭@品川宿

そこにある境界

KAIDO books & coffee ボーダーランド・ブックフェア

時間 10:00-18:00
入場料 ※各日4人出演
各回1,000円
※1ドリンク付き

自己と他者、自然と人間、暴力とコミュニケーション…私たちの身近には多くの「境界」が存在し、それはときに分断や憎悪、差別に結びついてしまうことがあります。いま社会に起きている問題を考えるにあたって大事なのは「自分にあり得た、誰かの人生」を考える想像力なのかもしれません。文字や言葉のフィールドで、常に自他の境界を問いつながら活動する8人に、活動や問題意識について語っていただきます。著書も並ぶほか、志を同じくする出版社・本づくりに携わる人々が作品やプロダクトを持ち寄ります。

トーク登壇者:大石始/小川たまか/加藤直徳(ATLANTIS編集長)/九龍ジョー/菱田雄介/butaji/文月悠光/山川徹(五十音順)



本照寺

時間 13:00-16:00
映画鑑賞 500円
悩み相談 無料

孤独死や虐待や精神病など、身边にあるはずの聞きとりづらい声に対して、ドキュメンタリーは何ができるのか。歴史ある寺の境内に、建築集団SAMPOがモバイルハウスの対話空間を作り、そこで『悩み相談』を行います。相談を聞く人は、マンションの12階から飛び降り自殺して社会貢献に目覚めたモカさんなど、激動の人生を歩んだ方々です。本堂では映画上映を。福島原発事故後の母子避難を追った『ふたつの故郷を生きる』(監督:中川あゆみ)、"ろう"の写真家・齋藤陽道さんが子守歌を歌いだす過程に迫った作品(監督:河合宏樹)の二本と、当事者や監督を交えた座談会をお届けします。



河合宏樹

会場は歴史ある宿場町・品川宿。

江戸時代から同じ道幅の旧東海道や、屋形船の船溜まりが残り、懐かしい東京に出会えます。かつては往来する旅人を迎えたこの街は、今も訪れる"流れ者"を受け入れてくれる街です。

ドキュメンタリーの駆け込み寺



※ 全ての会場が
徒歩10分圏内に点在しています。

一龍屋台村

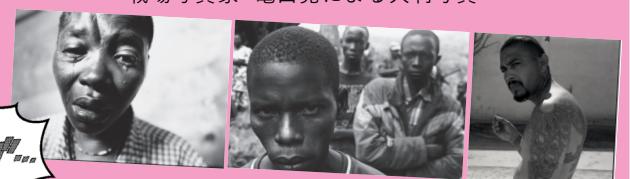
開場時間 16:00-17:00-22:30
入場料 ※各日6人出演
2,500円
※食事付 / 飲み物代別

居酒屋を会場に、社会問題の真ん中で思考する12人が次々と語り出す『トークライブ・ドキュメンタリー』。世界中の紛争地に出向いた看護師が看護の原点にたどり着く物語や、自殺経験者が作る“誰でも無償で住めて食べれる家”。借金地獄から立ち上がる伝統アニメや、故郷を想う移民たちの歌を紐解く“移民カラオケ”など、すべてのトークに当事者や作り手が登場し、共感を引き起こします。



展示

戦場写真家・亀山亮による大判写真



最近とまきTULLY'Sでも流れている
ECHO STICS(坂ノ下典正、西村大助)
のライブあり! *いつも6人メンバーです。

クリエイターユニット Someone's garden
『DOXray_ドキュメンタリーの解剖図』



心の暴動 2.0